

# 花蝶百人一首



天明4年に江戸の蔦屋重三郎により出版されたものを、天保6年に名古屋の2代目永楽屋東四郎が再出版したものです。絵は浮世絵師の溪斎英泉によって描かれました。この書籍は寺子屋で教科書として使ったといわれています。

永楽屋東四郎(東壁屋)は名古屋の版元です。明倫堂で学問を教える藩士の著作を多く出版しました。繁盛した永楽屋東四郎は蔦屋重三郎を頼りに江戸へも進出し、様々な種類を出版するようになりました。また、永楽屋は『北斎漫画』の出版を行い、北斎の西本願寺別院にて大達磨を描くイベントをプロデュースしたことも有名です。

写真は、小倉百人一首の41番から48番の歌が人物の絵とかがかかれています。赤矢印で示した、「契りきな かたみに袖をしぼりつつ 末の松山 波こさじとは」この歌は、藤原公任が選んだ三十六歌仙の一人で、清少納言の父である、清原元輔の歌です。